

千葉大学環境リモートセンシング研究センター主催
一般向け公開講演会

様々な手法で関東の、世界の降水を測る

日時

2018年

3月3日 土 13:30-17:00 (13:00開場)

千葉大学 西千葉キャンパス けやき会館 大ホール
(入場無料、事前申し込み不要)

第1部

関東の降水を捉える

「積乱雲の卵をとらえる」

小林文明 (防衛大学校 教授)

「積乱雲内の降水・風・雷の
三次元観測と短時間予測の現状
～危険な積乱雲をリアルタイムで診断～」

清水慎吾 (防災科学技術研究所 主任研究員)



防災科学研究所XバンドMPLレーダ

第2部

世界の降水を捉える

「世界をリードする日本の降水レーダ
(地上設置, 衛星搭載レーダ)」

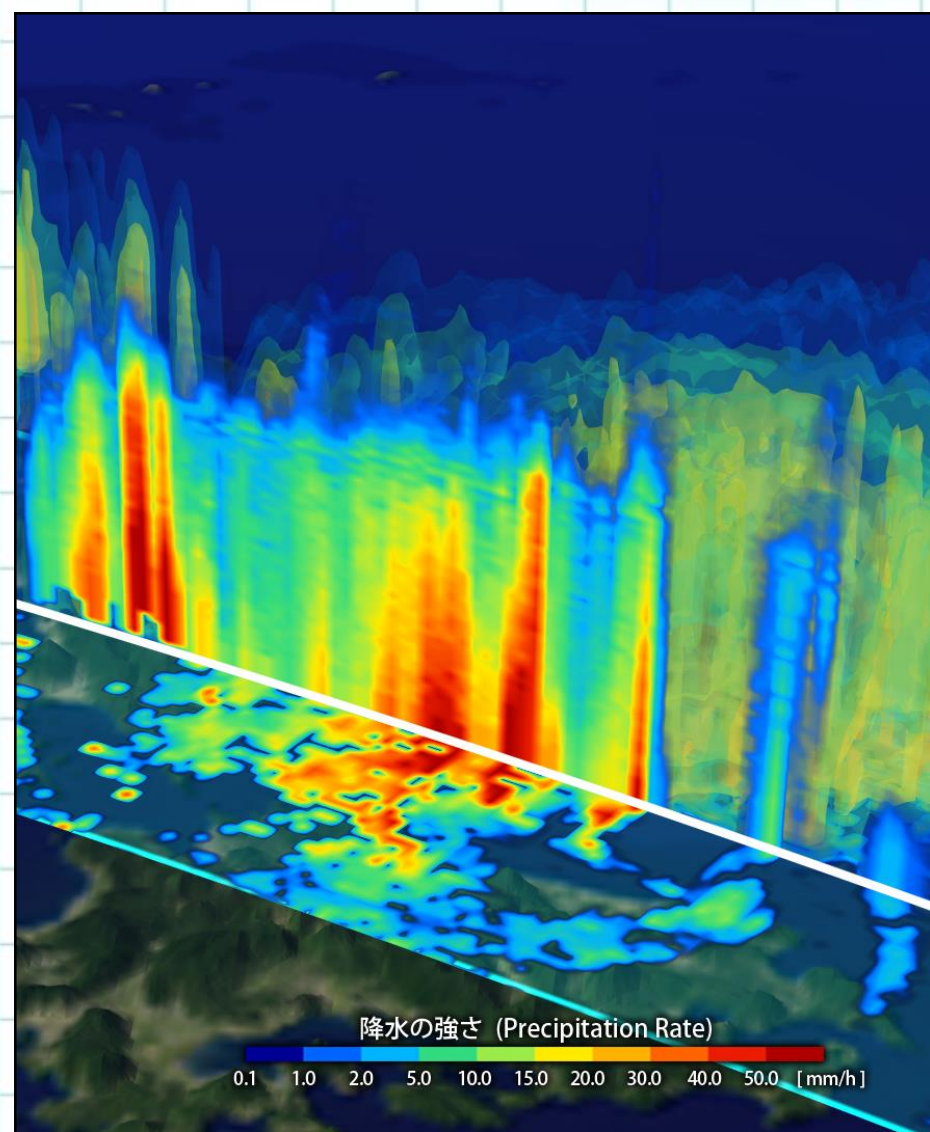
高橋暢宏 (名古屋大学宇宙地球環境研究所 教授)

「TRMMからGPMへ」

豊嶋紘一 (千葉大学環境リモートセンシング研究センター 特任研究員)

「TRMM GPMの成果を広域に広げる
ひまわり8号による降雨推定」

広瀬民志 (千葉大学環境リモートセンシング研究センター 特任助教)



GPM DPR 降水観測イメージ

JAXA Web

お問い合わせ: 千葉大学環境リモートセンシング研究センター
衛星気候学研究室 (043-290-3853)

E-Mail / ホームページ: lecture2018@cr.chiba-u.ac.jp

<http://www.cr.chiba-u.jp/databases/VL/VL-Lecture2018/VL-Lecture20180303.html>

主催: 千葉大学環境リモートセンシング研究センター

共催: 4大学連携バーチャルラボラトリー (VL)

環境省推進費「極端降水評価と気象解析のためのAPHRODITEアルゴリズムの改良」

